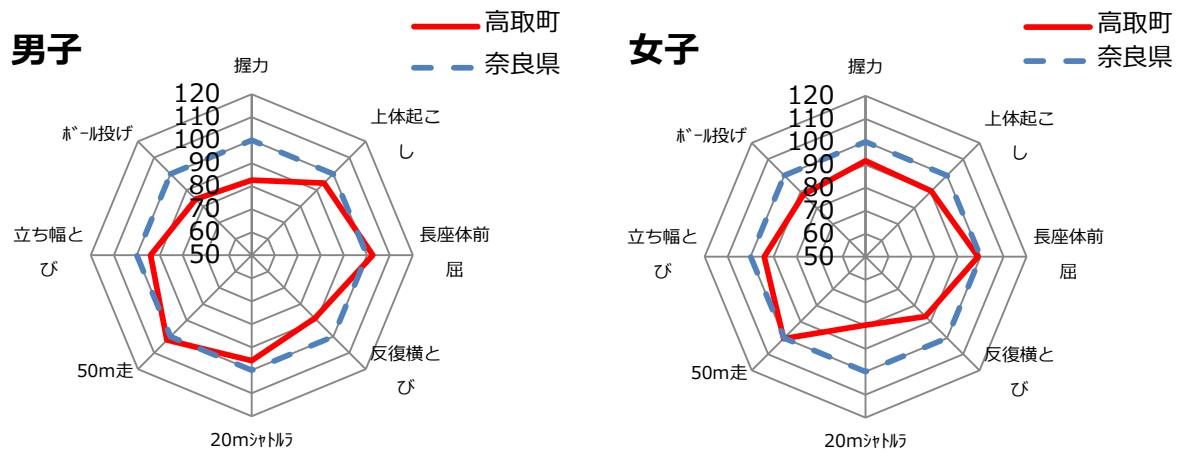


平成30年度 体力テストから見える高取町立小学校の児童

対象者：小学5年生

男子	握力（平均）kg	上体起こし回	長座体前屈cm	反復横とび点	20mシャトルラン回	50m走秒	立ち幅とびcm	ボール投げm
高取町	13.42	18.53	33.61	37.17	49.08	9.23	142.64	18.81
奈良県	16.24	19.64	32.76	41.89	51.21	9.33	151.74	22.28
県比較	82.6	94.3	102.6	88.7	95.8	102.2	94.0	84.4
女子	握力（平均）kg	上体起こし回	長座体前屈cm	反復横とび点	20mシャトルラン回	50m走秒	立ち幅とびcm	ボール投げm
高取町	14.63	16.89	36.58	34.63	32.53	9.57	136.63	12.42
奈良県	15.95	18.69	36.99	39.90	40.81	9.59	145.23	14.08
県比較	91.7	90.4	98.9	86.8	79.7	100.4	94.1	88.2



※県比較は、県平均を100として比較したものです。

※グラフの見方

グラフは、奈良県を100として比較した県比較を使用して作成しているため、グラフの数値は素点（テストのそのままの点数）ではありません。

赤のグラフが大きい ⇒ 高取町の成績が県平均を上回っている。

赤のグラフが小さい ⇒ 高取町の成績が県平均を下回っている。

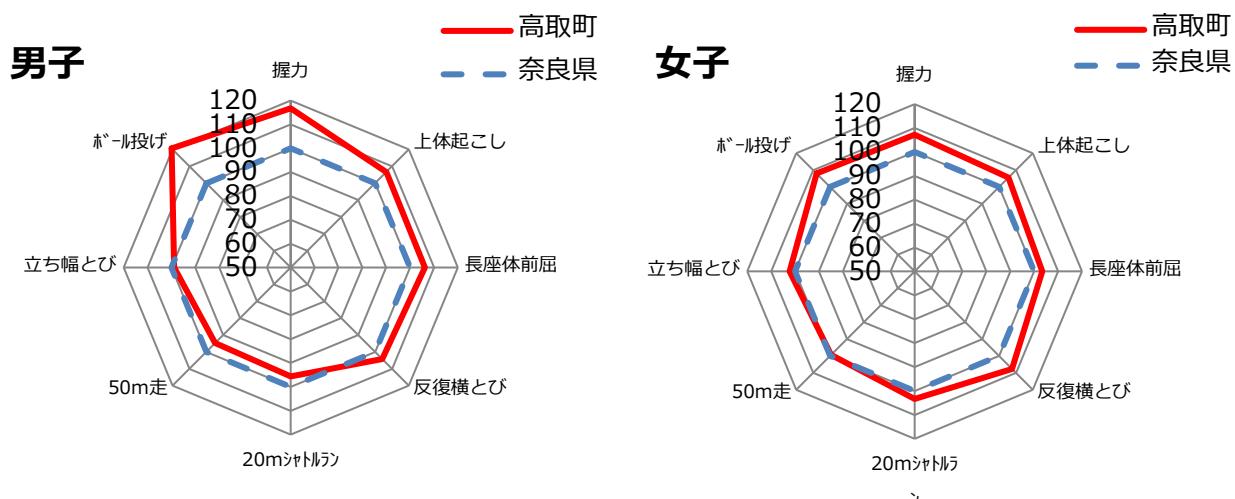
学校の課題及び取り組み

- ▼男子は、走力・柔軟性は良好ですが、投力・筋力においては課題があります。
- ▼女子は、柔軟性・走力は良好ですが、俊敏性・持久力においては課題があります。
- ▼昨年までの体力の向上を図るために取組により走力や跳力の向上が見られます。特に高取中学校の体育担当教諭の指導の機会を設けることで立ち幅跳びの技術の向上が見られます。今後も小中で連携を密にして、課題を精査するとともに体育の授業時間だけでなく学校生活全般を見通した体力向上の取組を継続していきます。
- ▼課題となる筋力は、学校体育や学校生活の場だけでは体力の向上を図ることは難しく、放課後(家庭)での過ごし方も大切になります。家庭に対して啓発をし、連携を図りながら取組を今まで以上に進めていきます。

平成30年度 体力テストから見える高取町立中学校の生徒

対象: 中学2年生

男子	握力(平均) kg	上体起こし 回	長座体前屈 cm	反復横とび 点	20mシャトルラン 回	50m走 秒	立ち幅とび cm	ボール投げ m
高取町	39.45	32.29	49.19	58.29	88.27	7.74	207.45	27.64
奈良県	33.79	30.28	46.32	55.97	92.33	7.55	209.81	22.92
県比較	116.8	106.6	106.2	104.1	95.6	94.8	98.9	120.6
女子	握力(平均) kg	上体起こし 回	長座体前屈 cm	反復横とび 点	20mシャトルラン 回	50m走 秒	立ち幅とび cm	ボール投げ m
高取町	27.16	26.68	49.00	52.80	60.29	8.74	176.16	15.90
奈良県	25.33	25.29	47.39	49.03	58.35	8.72	172.23	14.73
県比較	107.2	105.5	103.4	107.7	103.3	99.4	102.3	107.9



※県比較は、県平均を100として比較したものです。

※グラフの見方

グラフは、奈良県を100として比較した県比較を使用して作成しているため、グラフの数値は素点（テストのそのままの点数）ではありません。

赤のグラフが大きい ⇒ 高取町の成績が県平均を上回っている。

赤のグラフが小さい ⇒ 高取町の成績が県平均を下回っている。

学校の課題及び取り組み

▼男子は、20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳び、女子は、50m走の結果が県平均を下回っており、男女ともに瞬発力、全身持久力に課題があります。記録向上を目指し改善できるところを検討します。また、体育授業時に走る運動を増やしていきたいと考えています。

▼休みを利用して運動や遊びの推奨などの積み重ねを行った結果、昨年度から比較すると県平均を大きく上回る種目が増えました。

▼運動に親しむ資質や能力を育むために、教科体育のみならず、教育活動全体で内発的動機付けを図りながら、生徒の「運動有能感」を高めていきます。

▼授業による運動時間の確保、毎時の補助運動により、体力をつけていきます。運動部活動への参加を促し、運動の機会を増やしていきます。